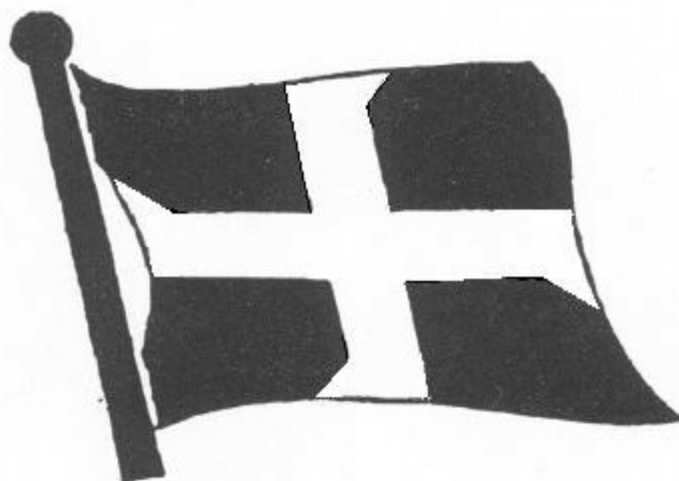


蒼穹NEWS

No.3

伊勢予選総括号

令和元年 7 月 6 日発行



～目次～

1. 主将挨拶・監督挨拶・長距離 PC 挨拶
2. 伊勢予選結果
3. 伊勢予選詳細
4. 選手からのコメント
5. 伊勢予選 OB 様名簿
6. 記録会等の結果

1. 主将挨拶・監督挨拶・長距離 PC 挨拶

主将挨拶

6月30日、全日本大学駅伝の関西地区予選が、西京極にて行われました。目標は6位でしたが、関西大学に10"35及ばず7位という結果に終わりました。

近年、京大の長距離は関西の7位8位周辺を前後し、なかなかそれ以上の結果を伊勢予選ないしは丹後にて残せておりません。そういった現状を打破し、昨年の8位の目標を踏み台にして、再び伊勢へと京大が舞い戻るための1ステップとする、強い思いがこの6位には込められていました。しかし、それもまた、4年前を想起させるかのように、関西大学に10秒強、距離にして約60m程度の差で、逃してしまいました。

伊勢予選に対して、長距離だけではなくチームの全体が気持ちを向けており、当日の応援も熱いものでしたが、それでもあとわずかなところで負けてしまったこと。これはチーム一同、深く省みなければなりません。このままだと、次の戦いである七大戦でも同様に、数点差で優勝を逃す未来も色濃く見えてしまいます。そのような結果は絶対に阻止し、今一度気を引き締めて、七大戦に向けて一層の努力を行っていく所存です。

一方で、タイムとしては4時間12分を目指していましたが、結果はそれより6分弱遅いタイムとなりました。5位にも3分ほど差をつけられており、この冬長距離が力をつけてきたことは確かではありますが、関西中堅ないしは上位と戦い抜き、伊勢への切符を手にするにはまだまだ根本的な実力の底上げも必須であることは明白です。ここからさらに力をつけ、まずは11月の丹後大学駅伝では6位を獲得の姿をお見せするために、こちらもまた一層の研鑽を積んで参ります。

蒼穹会の皆様方におかれましては、ここからさらに力をつける私たちの姿に是非とも期待していただければと思っております。今後とも変わらぬご支援ご声援のほどを、よろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 三神 惇志

監督挨拶

6月30日に、西京極競技場にて全日本学生駅伝予選会が行われました。京都大学は関西大学と約10秒差で7位となり、目標であった6位は達成できませんでした。チームとしてベストを尽くしての結果なので、真摯に受け止め今後に生かしていく所存です。目標は達成できなかったものの、久田(3)や足立(2)、清水(2)など自己ベストとなる走りをしてくれた選手もあり、京都大学が再び伊勢の舞台を走るための新たな一歩になったといえます。11月の関西学生駅伝こそは目標を達成したいと思います。

チームとして次に臨む対校戦は七大戦です。男子はランキングでは優位が予想されますが、油断せずに邁進していきます。女子は厳しい展開が予想されますが、全員が自己ベスト

を出すことができれば十分戦うことができます。今回目標を達成できなかった悔しさを忘れずに、男女総合優勝という最高の結果で終わられるよう、より一層精進して参ります。

最後になりましたが、お足元の悪い中にもかかわらず多くの蒼穹会の皆様に足を運んでいただき、ご声援を賜りまして誠にありがとうございます。今後とも変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部監督 五十嵐 隆皓

長距離パートチーフ挨拶

平素より京都大学陸上競技部をご支援いただき、誠にありがとうございます。

さて、先日行われました全日本大学駅伝予選会において、京都大学は4時間17分56秒15で7位という結果に終わりました。目標であった6位関西大学とはわずか10秒35の差であり、あと少しのところまで目標達成を逃すこととなってしまいました。

京都大学は近年、関西長距離界では中堅に甘んじており、また年々順位を下げつつある状況にありました。今年こそ、強豪校に返り咲くため、過去3年の最高順位である6位を目標に、半年間努力を重ねてきました。しかし、それでもなお関西大学に及ばなかったのは、冬からここまでの長期的な取り組みの差があったからに他なりません。自分が取ってきた選択は、本当に最善のものだったのか、各々がもう一度振り返ったうえで、この差を埋めるための取り組みをしていく必要があります。

とはいえ、記録審査では4分30秒の差があった関西大学をここまで追い詰めたこともまた事実です。当日の状況、相手とのタイム差、各大学の選手配置、様々な要素を考慮したうえで、各選手が自分の役割をしっかりと認識し、それを果たしてくれました。また、長距離パートだけでなく、陸上競技部全体が6位という目標に真摯に向き合えたことが、大きな後押しになりました。こうした自分たちの強みを忘れず、これからも努力していきたいと考えています。

最後になりますが、ご多忙の中現地に駆けつけてくださった方々、結果を心待ちにしてくださった方々に、厚く御礼申し上げます。今後も七大戦、東大戦、駅伝といった大きな対校戦が控えており、チーム一同精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部長距離パートチーフ 原田 麟太郎

2. 伊勢予選結果

秩父宮賜杯 第 51 回全日本大学駅伝 関西学連出場大学選考会

令和元年 6 月 30 日(日)

西京極総合運動公園陸上競技場

第 1 位	立命館大学	4:07:38.10
第 2 位	関西学院大学	4:10:03.86
第 3 位	京都産業大学	4:10:25.03
以上 3 大学が選考会通過(全日本大学駅伝出場権獲得)		
第 4 位	大阪経済大学	4:13:56.21
第 5 位	びわこ学院大学	4:14:40.66
第 6 位	関西大学	4:17:45.80
第 7 位	京都大学	4:17:56.15
第 8 位	龍谷大学	4:19:14.11
第 9 位	同志社大学	4:24:24.99
第 10 位	大阪体育大学	4:30:28.05
第 11 位	大阪大学	4:30:44.48
第 12 位	大阪学院大学	4:32:23.86

3. 伊勢予選詳細

第 1 組

- 1 着 沖見 史哉(関学大 3) 31:31.00
- 2 着 藤田 孝介(立命大 4) 31:41.04
- 3 着 北澤 涼雅(京産大 2) 31:45.30
- 9 着 原田麟太郎(京都大 4) 32:29.37
- 13 着 大前 晃一(京都大 4) 32:59.97
- 17 着 相澤 航(京都大 4) 33:32.48

蒸し暑さは感じられたものの天気には恵まれた 10000m 一組目には、相澤(4)、大前(4)、原田(4)の三人が出場した。スタート直後から集団は大きく縦長になり、さらに集団が 3 つほどに分かれ、原田は第 2 集団、相澤は後方の集団、そして大前は 2 人の間を単独

で走る展開となった。原田と相澤は怪我の影響もあり十分に練習を積めていない中でも集団の中で粘り、中盤にかけて前から落ちてきた選手をとらえながら順位を上げていった。大前は序盤から単独走という厳しい展開になりながらも持ち前の安定感を発揮し、ペースを刻みつつ前を追った。原田は後半にかけて苦しそうな表情を見せながらも、パートチーフとしての意地を見せ、また大前・相澤も苦しい場面はあったもののチームを引っ張る 4 回生として最後まで粘りの走りでレースを終えた(吉村)。

第 2 組

- 1 着 吉岡 遼人(立命大 3) 30:31.23
- 2 着 坂口 博基(京産大 2) 31:01.38
- 3 着 藤井 大輔(関学大 4) 31:42.16

- 17 着 谷川 尚希(京都大 4) 33:08.71
 18 着 渡邊 康介(京都大 M1)33:28.65

第 2 組には、京都大学から渡邊(M1)、谷川(4)が出走した。渡邊、谷川は今回が初めての伊勢予選であった。序盤から先頭が 1km3 分を切るハイペースで行く中、渡邊、谷川は堅実に中央集団に付いてレースを進めた。渡邊は中盤攻めるレースをしたが後半に向かうにつれて耐えきれずペースを落としてしまった。谷川は中盤こそペースを落としてしまったが、後半はなんとか耐える場面もみられた。しかし、どちらも目標とするという 32 分というタイムには届かず、悔しい結果となった(田中大)。

第 3 組

- 1 着 山田 真生(立命大 1) 30:34.46
 2 着 岡田 浩平(立命大 3) 30:55.39
 3 着 足立 舜(京都大 2) 30:57.66
 自己新
 8 着 清水 厚佑(京都大 2) 31:16.24
 自己新
 18 着 鈴木洋太郎(京都大 2) 32:39.62

第 3 組には足立(2) 清水(2) 鈴木(2)が出走した。足立は序盤から先頭の集団についていき、終盤までその集団から離れることなく、組 3 着、事前にたてた 31:00 を切る自己ベストという好成績でゴールした。清水は、途中から集団から離されたものの自分でペースを保ち終盤はしんどい表情も見られたが、自己ベストを大幅に更新する快走をみせた。鈴木は序盤から一緒に走る集団がなく、終始自力で押す展開となり、苦しいレースとなったが、関大の 3 番手に先

着し、目標に向け最低限の仕事はこなした。
 2 回生 3 人の伊勢予選という大舞台での快走は今後の長距離の躍進を期待させるものであった(木野村)。

第 4 組

- 1 着 石井 優樹(関学大 4) 30:18.16
 2 着 今井 崇人(立命大 4) 30:20.59
 3 着 富田遼太郎(大経大 3) 30:25.40
 19 着 久田 雅人(京都大 3) 31:37.27
 自己新
 25 着 柴田 裕平(京都大 M2)32:47.31

第 4 組には、京都大学から柴田(M2)、久田(3)が出走した。レースは関学・石井や立命・今井といった実力者が引っ張る展開となった。序盤、ハイペースとは言えない中で全体がひとかたまりの集団を形成し、柴田・久田ともに中盤～後方につける。お互い近い位置で走りながら様子を伺う。3000m を過ぎたあたりから柴田の足が止まり、集団から離れていく。その後もなかなかペースは上がらない中でも、前の関大を追い続け、スパートで抜き去り最後まで懸命に差を広げてフィニッシュした。一方久田は 5000m まで先頭集団後方で粘るも、そこから先頭がペースを上げた影響で集団が分かれ、前を追うために引っ張る展開となる。単独走になった終盤も必死に前のライバル関大を追い、目標としていたタイムには届かなかったものの最終的に自己ベストを出し、意地を見せた(鶴見)。

4. 選手からのコメント



応援ありがとうございました。1組を走らせていただきました、4回生の相澤です。チームとしては目標の6位を達成できず、また個人としてもチームに貢献する走りが全くできず力不足を実感するレースとなりました。春先満足に練習することができなかったので、まずはしっかり練習を積みなおして、駅伝ではチームに貢献できるよう精進していきます(相澤)。



1組を走らせていただきました。個人的に求められる最低限の責務は果たしたものの、上位校との勝負に絡むことが出来ず、彼らとの力の差を痛感しました。また、チーム目標の達成もかなわず、もっとチームに貢献できた部分はあったのではないと思う次第です。今回の経験が無駄にはせず、今秋の丹後駅伝で雪辱を果たすべく、引きつづき精進してまいります(大前)。



応援ありがとうございました。怪我の影響で練習が満足に積めず、仲間達に負担をかけてしまいました。現状の京大の力をしっかりと出せた試合でしたが、それでも及ばなかったのも事実です。この11秒を忘れず、夏から秋の試合で仲間や応援してくださる方々に報いる結果を残すため努力していきます(原田)。



悪天候にもかかわらず応援いただきありがとうございます。今回はチーム内で中堅の実力を持ち、確実に走れることを求められる中、それができませんでした。自分を信じて使ってくれた方々に本当に申し訳なく思います。チームの若返りが進み、新しい京大長距離となりつつある中、それに負けないう日々精進したいと思います(渡邊)。



2組を走りました、4回の谷川です。私の役割は、32'00で走り後半組の選手の負担を少しでも減らすことでしたが、これらを全く達成することができませんでした。この2組で関西大学と大きく差を開けられてしまい、総合結果でも10.35秒差の7位に終わり、私がチームの足を引っ張る形になりました。次はチームに結果で貢献できるよう、これまでの考え・取り組みを改めて精進努力します。ありがとうございました(谷川)。



夜遅くまでの応援ありがとうございました。チームの目標が達成できなかったことは残念で悔しかったです、個人的には今回初めて伊勢予選を走らせていただき、貴重な経験となりました。当日実際に走って感じたことを今後の自分の成長に繋げ、強くなるために頑張ります(清水厚)。



応援ありがとうございました。丁度良いペースでレースを展開することができ、今の力は発揮できたと思います。しかし、4組で走る関西のトップ層と闘うにはまだまだ力不足だと痛感しました。チームとしても個人としても強くなれるよう全力を尽くしていきますので、今後ともよろしくお願いします(足立)。



長時間にわたる心のこもった応援、本当にありがとうございました。信頼して3組を任せてくださった皆さんへの期待に添えず、情けなくまた悔しく思っています。今後はより広い視野をもって、自己の記録の向上は勿論、目標達成のために、苦しいところで粘りきれる選手となることを目指し努力して参ります(鈴木)。



予選会への出場は6年連続で、今回の4組目も5回目と経験は十分でしたが、春先から練習を満足に積めず状態を上げきれない中でのレースになりました。2000m手前まではまだ余裕を持って先頭集団についていましたが、その後じりじり集団の後ろに下がり、3000m以降は集団から離れて大きくペースを落としました。中盤、同様に集団からこぼれてきた関大を追う展開になりましたが、最終的に先着したものの差をつけることができず、目標である6位達成のための役割を全く果たせませんでした。最終学年でこのような結果に終わり、ふがいなく思います。駅伝では必ずこの雪辱を果たします(柴田)。



4組を走らせていただきました3回生の久田です。今大会は練習をしっかりと行えていて30分台は出せると思っていたのにこのような結果であったこと、チームとしてわ

ずかに目標を達成できなかったことからとても悔しく感じます。今大会での悔しさを胸に刻み、忘れることなく日々精進していきたいと思います。応援ありがとうございました(久田)。

5. 伊勢予選 OB 様名簿

応援にお越しいただいた蒼穹会の皆様の一覧です。伊勢予選当日は、天候が優れない中、遅くまでの応援本当にありがとうございました。

1. 森本 正幸 様 (S41)
2. 真野 勝文 様 (S53)
3. 三好 稔彦 様 (S54)
4. 下迫田 啓太 様 (H28)
5. 寶 雄也 様 (H28)
6. 山下 弘輝 様 (H30)
7. 伊東 悠希 様 (H31)
8. 小柴 鷹介 様 (H31)
9. 谷口 博紀 様 (H31)

6. 記録会等の結果

第 73 回大阪大学・名古屋大学対校陸上競技大会(OP の部)

令和元年 5 月 25 日(土)

服部緑地陸上競技場

▼男子 100m				
安藤 滉一	OP	10"95	+0.1	
岩松 尚杜	OP	12"01	+0.1	
▼男子 200m				
安藤 滉一	OP	22"13	+1.2	
▼男子 400m				
岩松 尚杜	OP	50"00		
▼男子棒高跳				
増尾 浩旗	OP	4m00		
鄭 晟皓	OP	NM		
▼男子ハンマー投				
藤田 歩	OP	37m48		

2019 年度第 2 回京都産業大学長距離競技会

令和元年 5 月 25 日(土)

京都産業大学総合グラウンド

▼男子 800m			
川井 景太		1'56"37	自己新
岡本 郁翔		2'07"83	
▼男子 1500m			
岡野 颯斗		4'07"93	
平中 章貴		4'11"46	
鶴見 薫樹		4'22"71	
▼男子 5000m			
相澤 航		16'08"72	
津吉 順平		16'37"39	
木野村隆宏		17'13"25	
▼男子 10000m			
清水 秀広		32'58"39	自己新

谷川 尚希		33'03"81	
大前 晃一		33'06"61	
川井 拓哉		33'54"64	
吉村 柊太		34'36"82	自身初
足立 大宜		35'29"72	
泉 竣哉		DNF	
▼女子 3000m			
藤本 涼		11'10"45	自己新
鶴崎 涼花		12'47"46	

2019 石川県陸上競技記録会兼第 74 回国民体育大会石川県予選競技会

令和元年 6 月 1 日(土)

石川県西部緑地公園陸上競技場

▼男子 100m				
加藤 寿昂		10"57	+1.6	

第 79 回愛知陸上競技選手権大会参加標準記録突破尾張競技会

令和元年 6 月 1 日(土)2 日(日)

一宮総合運動公園陸上競技場

▼男子 110mH				
酒井 良佑		15"90	+0.3	大学新
▼男子 400mH				
酒井 良佑		57"43		

第 36 回東三河陸上競技選手権大会

令和元年 6 月 1 日(土)2 日(日)

豊橋市陸上競技場

▼男子 100m				
前田 朝陽		11"63	-1.4	大学新
▼男子 400m				
前田 朝陽		51"95		

第 58 回びわこ成蹊スポーツ大学記録会

令和元年 6 月 2 日(日)

びわこフィールド

▼男子 100m				
森本 健太	I	11"00	0.0	自己新
	II	11"09	-1.7	
小野 貴裕	I	11"23	-0.6	
梶原 隆真	I	11"26	+0.4	
湯谷 樹生	I	11"27	0.0	
西脇 友哉	I	11"52	0.0	
永田 智季	I	11"56	-0.3	自己新
武波 夏輝	II	11"55	-1.7	
▼男子 200m				
澤 薫		22"27	+0.2	
田中 大智		22"27	0.0	
西脇 友哉		23"03	-0.8	
▼男子 400m				
武波 夏輝		51"97		大学初
▼男子 110mH				
鄭 晟皓		19"48	-1.8	自己新
▼男子 400mH				
松本 佳太		56"86		自己新
▼男子走幅跳				
坂本 璃月		5m88	-0.5	大学初
▼男子円盤投				
鄭 晟皓		21m68		自己新
▼男子ハンマー投				
藤田 歩		38m45		

2019 日本学生陸上競技個人選手権

令和元年 6 月 7 日(金) 8 日(土) 9 日(日)

Shonan BMW スタジアム平塚

▼男子 400m			
小谷 哲	予選	48"90	
▼男子 800m			
木村 佑	予選	1'55"50	
▼男子 1500m			

木村 佑	予選	3'54"70	
	決勝	3'58"53	12 位
▼男子 10000mW			
亀田孝太郎	決勝	43'08"11	24 位
▼男子円盤投			
大橋 悟	決勝	44m10	20 位

2019 年度関西実業団陸上競技連盟記録会兼
兵庫実業団記録会

令和元年 6 月 8 日(土)

尼崎記念公園陸上競技場

▼男子 100m				
湯谷 樹生		11"19	-0.1	大学新
野田 真志		11"56	-1.4	
数多 伸紀		11"74	+0.6	
鄭 晟皓		11"75	-0.5	
岩井 響平		11"80	0.0	自身初
▼男子 400m				
田中 智也		50"28		
岩松 尚杜		50"36		
水野 廉也		50"93		
▼男子 5000m				
足立 大宜		17'17"41		
▼男子走幅跳				
村田 憧哉		6m51	+1.1	
南井 航太		6m40	+0.8	
▼男子三段跳				
岩井 響平		13m33	-0.1	
柳原 拓海		NM		
▼男子ハンマー投				
三谷 圭		45m25		
▼男子やり投				
澤田 剛		50m27		
山野 陽集		48m90		大学新
▼女子 100m				

後藤 加奈		12"98	+1.7	自己新
奥村 夏子		13"98	-0.3	
▼女子 400m				
後藤 加奈		1'01"00		
▼女子砲丸投				
中野 水貴		9m48		
▼女子やり投				
中野 水貴		44m95		

2019 年度第 3 回京都産業大学長距離競技会

令和元年 6 月 8 日(土)

京都産業大学総合グラウンド

▼男子 800m				
中尾 友哉		1'58"03		
川井 景太		1'59"51		
前田 裕也		2'00"31		自己新
乙守倫太郎		2'03"36		
山田 大智		2'03"97		大学初
岡本 郁翔		2'10"63		
飯田 駿介		2'17"66		
▼男子 1500m				
清原 陸		4'00"28		
岡野 颯斗		4'02"79		
宇佐美岳良		4'06"85		
鶴見 薫樹		4'22"96		
▼男子 5000m				
久田 雅人		14'52"93		自己新
渡邊 康介		15'27"46		
相澤 航		15'39"54		
潮崎 羽		16'25"30		

第 78 回愛知陸上競技選手権名古屋地区標準記録突破競技会

令和元年 6 月 9 日(日)

名古屋市瑞穂公園陸上競技場

▼男子 800m				
浅井 良		1'53"52		大学初 自己新

第 34 回関西医科大学学生陸上競技対校選手権大会

令和元年 6 月 9 日(日)

服部緑地陸上競技場

▼男子 200m				
西脇 友哉	予選	22"70	0.0	
	4 位	22"95	-1.4	
▼男子 400m				
西脇 友哉	5 位	50"73		自己新

第 2 回静岡県長距離強化記録会

令和元年 6 月 15 日(土)

静岡県小笠山総合運動公園スタジアム

▼男子 5000m				
木野村隆宏		16'19"58		

秩父宮賜杯 第 72 回西日本学生陸上競技対校選手権大会

令和元年 6 月 21 日(金)22 日(土)23 日(日)

西京極総合運動公園陸上競技場

▼男子 100m				
加藤 寿昂	予選	10"95	-1.4	
澤 薫	予選	11"18	-1.2	
▼男子 400m				
小谷 哲	予選	48"48		
	準決	48"39		
	決勝	48"35		5 位
浅井 良	予選	48"18		
	準決	48"11		
小原 幹太	予選	49"62		
▼男子 800m				

木村 佑	予選	1'53"65	
	準決	1'52"50	
	決勝	1'54"44	6 位
土屋維智彦	予選	1'56"35	
	準決	1'56"78	
▼男子 1500m			
清原 陸	予選	3'59"62	
	決勝	4'09"99	
▼男子 5000m			
柴田 裕平	決勝	15'25"64	
▼男子 110mH			
吉川 広祐	予選	15"43	+1.4
小野 貴裕	予選	15"53	-1.4
▼男子 100mH			
五十嵐隆皓	予選	57"47	
▼男子 4×100mR			
京都大学 (田中大-加藤-安藤-澤)	予選	41"26	
▼男子 4×400mR			
京都大学 (浅井-藤田雄-前田朝-武波)	予選	3'18"68	
▼女子 400m			
後藤 加奈	予選	1'00"02	
▼女子 800m			
西川 真悠	予選	2'22"48	
▼女子 100mH			
花房柚衣香	予選	16"79	+0.1
▼女子 4×100mR			
京都大学 (小西-後藤-花房-中野)	予選	53"70	
▼女子やり投			

中野 水貴	決勝	45m80	自己新 京大新
-------	----	-------	------------

第 87 回大阪陸上競技選手権大会兼第 74 回
国体陸上競技大阪府代表選手選考競技会
令和元年 6 月 21 日(金)22 日(土)23 日(日)
ヤンマーフィールド長居

▼男子 200m				
田中 大智	予選	21"86	+1.3	自己新
	準決	22"12	+0.3	
▼男子 400m				
水野 廉也	予選	50"42		
▼男子 800m				
川井 景太	予選	2'01"70		
▼男子 110mH				
永田 智季	予選	15"31	+2.0	
▼男子 5000mW				
亀田孝太郎	決勝	21'47"08	2 位	

第 5 回東京学芸大学ナイター競技会
令和元年 6 月 22 日(土)
東京学芸大学総合グラウンド

▼男子 10000mW			
馬淵 丈		46"11"58	

2019 年群馬県陸上競技選手権大会兼国民体
育大会群馬県第 2 次予選会
令和元年 6 月 22 日(土)23 日(日)
群馬県立敷島公園県営陸上競技場

▼男子 100mH			
五十嵐隆皓	予選	55"22	
	決勝	55"65	4 位

第 73 回広島県陸上競技選手権大会
令和元年 6 月 22 日(土)23 日(日)
広島県総合グランドメインスタジアム

▼男子 5000mW			
平岡 拓		DQ	

第 74 回神奈川県陸上競技選手権大会兼第 91
回関東陸上競技選手権大会兼予選会兼第 74
回国民体育大会神奈川県代表選手選考会

令和元年 6 月 22 日(土)23 日(日)30 日(日)

横浜市三ツ沢公園陸上競技場

川崎市等々力陸上競技場

▼男子やり投			
澤田 剛	決勝	60m31	自己新



蒼穹 NEWS 令和元年度 第3号

令和元年7月6日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：犀川啓太・鈴木洋太郎・柳原拓海（副務）

特別協力：三田村侑紀・山口佳那子（学連員）

武波夏輝・藤田雄大（記録係）・浅井良（HP 係）

写真担当：鶴見薫樹・永田智季・平岡拓・吉井希祐

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>

陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス liuyuantahai9@gmail.com （柳原）